

| | | | |
|--|---|-------------------|-------|
| 2009年度 後期 | 曜日・校時 水・3 | 必修選択 必修 | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名) | フランス語 II (French II) | | |
| 対象年次 1年次 | 講義形態 演習 | 教室 | |
| 対象学生(クラス等) | La~d | 科目分類 外国語科目(フランス語) | |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 大橋 絵理 / Eメールアドレス: eohashi@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 環境科学部棟1階(123-2) / TEL: /オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:30-12:50 木曜日 10:30-12:00 | | | |
| 担当教員(オムニバス科目等) | | | |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: フランス語 I を履修済みの学生を対象にし、フランス語で日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画等文化的な側面にも触れることをねらいとします。 授業方法: 基本的には教科書に沿って進みます。文法だけではなく、オラルも重視し、ペアになったりグループになったりしながら、質問及びクラスメートに自分の言いたい事を伝えたり、書いたりする練習をします。 授業到達目標: 不規則動詞を学ぶことによって、近い未来や過去、可能性や義務についてのある程度複雑な表現ができるようにします。またフランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、タクシ-の乗り方、レストランでの注文の仕方を学ぶことを目標とします。 | | | |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) フランス人と実際に交流する時に必要だと思われる実践的な会話や文法を学びます。そしてその過程の中で、フランス語の会話の機能に習熟し、コミュニケーション能力を高めます。また、フランス人の食生活や地方についてビデオや DVD を見ながら理解を深めます。 第1回 タクシ-の乗り方、aller, venir の動詞の活用、近接未来、近接過去 第2回 非人称主語、天候や季節の表現、Il faut, Il fait 第3回 道を教える、prendre、命令法 序数(1~10) 第4回 時間の表し方、方向や公共施設の語彙、前置詞による空間の表現 第5回 Civilisation(フランスの大学生活) 第6回 誕生日パーティ、人称代名詞・直接目的補語 第7回 比較級、plus, aussi, moins ~ que、暦・カレンダーの語彙 第8回 お金の払い方、人称代名詞・間接目的語、最上級 第9回 様々な表現、人称代名詞まとめ、食事や食器に関する語彙 第10回 Civilisation (パン、ワイン、チーズ) 第11回 スポーツ(柔道)についての会話、代名動詞、スポーツに関する語彙 第12回 テニスについての会話、pouvoir, devoir, vouloir(可能、欲求、義務の表現) 第13回 疑問形容詞、事務手続きに関する語彙、on, ça 第14回 Civilisation (ブルターニュ地方、妖精伝説とクレープ) 第15回 全授業の総括(試験含む) | | | |
| キーワード | 楽しく日常会話ができるようになる | | |
| 教科書・教材・参考書 | アミカルマン<改訂版>(駿河台出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書) | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 定期試験70%、小テストや課題20%、授業中の発表や参加状況10%を総合的に判断する | | |
| 受講要件(履修条件) | | | |
| 本科目の位置づけ/学習・教育目標 | | | |
| 備考(準備学習等) | 意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。 | | |